

## 学生のボランティア活動報告

### 英語サークル

#### 森田地区児童館における英語教室

生活科学学科 生活情報専攻 1回生 西 千遥

私たちは、2019年8月8、19、21、23日に英語サークル活動の一環として森田地区にある全5か所の児童館で英語教室を行いました。内容は「世界のあそび」をテーマとし、アメリカの「ダックダックグース」、「ホットポテト」、ネパールの「フィッシュキャッチ」、スウェーデンの「クップ」という4つのあそびを準備しました。

児童館で最初に行ったのは、サークルのみんなで協力して制作した世界地図を用いてのアメリカ、ネパール、スウェーデンの場所の紹介です。次にフィッシュキャッチを行いました。これは指を使うあそびだったので、五本指それぞれの英語を紹介しました。次にホットポテトです。ボールを熱いジャガイモに見立てて回していくというあそびで、回す時に果物の名前を英語で言うというルールを設けました。次にダックダックグースを行いました。日本のハンカチ落としのようなものです。最後にクップを行いました。クップは元々木片を使って行うあそびなのですが、安全面を考慮して新聞紙や折り紙で木片に見立てた小道具を製作し、子どもたちに使ってもらいました。これらのあそびを通して、子どもたちに他国の文化に触れてもらうことができました。楽しそうに遊びながら英語を話してくれてとても嬉しかったです。

今回、子どもたちに楽しんでもらうにはどのようにすれば良いかを考えて行動しました。このように相手の立場に立つて物事を考えるという視点はとても大切なことだと思います。



### パソコンボランティアサークル

生活科学学科 生活情報専攻 2回生/サークル長 中出 愛美

パソコンボランティアサークル（以下、パソボラ）は、鯖江市社会福祉協議会鳥羽事業所「なかま」にて、月に1回程度のペースで「障がい者のためのパソコン相談会」を開催する等の活動をしています。

自分がパソボラに所属したきっかけは3つあります。一つ目は、1回生の終わりごろに、田中先生から声をかけていただいたからです。二つ目は、パソボラの活動に興味を持ったからです。三つ目は、学生のうちにできることは何でも行いたいと思ったからです。

パソボラを始めたころは、相手になにをどのようにしたらよいのか、どこまで相手に手を差し伸べたらよいのかなど、戸惑いの連続でした。パソボラの活動をしていくうちに様々なことに対して理解を深めることができました。例えば、相談者への接し方・話し方・教え方です。また、パソコンの操作の仕方などを深く学ぶことができました。

社会人になると様々な方と接する機会が増えると思いますが、学生のうちに障がい者の方に接することができて良かったです。いろいろな障がいや考えをお持ちの方との関わりかたを深く学ぶことができました。

パソボラを通じて、小さなことかもしれませんが、社会貢献活動ができたと考えています。また、このサークルに所属することにより、自分自身の成長を感じ、自信につながりました。パソボラでの経験を活かして、これからもこのような活動を行っていきたいです。ありがとうございました。

## 折り紙サークル

幼児教育学科 2回生／サークル長 谷口 渚

こんにちは。我ら折り紙サークルは、お昼休みに集まり、楽しくおしゃべりをしたり歌を歌ったりしながら活動を行っています。主な活動としては、折り紙で壁面を作り、病気などで外へ出られない子どもたちが様々な季節を感じられるように、季節の壁面作品を病院へと送っています。また、病院に送るものと同じ作品をもう一つ心を込めて作り、図書館にも寄贈しました。私たちは、作品を作るときにひと工夫しています。例えば、雲を綿で表現したり立体の折り紙を作ったりすることで、より一層実物に近づけようと頑張りました。

また、壁面づくり以外に、ボランティアにも参加しています。夏休み期間に、森田公民館で、地域の子どもたちやお年寄りの方々に折り紙を教えるという活動を行いました。普段は「教わる」立場である私たちにとって、このボランティアは「教える」ことの大変さを実感し学ぶことのできる良い機会となりました。

折り紙サークルの活動を通して、「折り紙の知識」だけでなく、「期日までに終わらせる重要性」を身に染みて感じ、「仲間と団結して何かをする大切さ」、そして何よりも「誰かに喜んでもらいたいという気持ち」が芽生えました。このような折り紙サークルでの経験は、社会に出てからも役に立つとても素敵なものです。

